

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	直営保育所の再編・民営化						掲載ページ
							45
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等にあわせて直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に直営保育所の再編・民営化を図ります。 具体的には、平成22年度から平成26年度までの5年間で、直営保育所4か所の民営化と1箇所の統合を図り、18か所に再編します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	直営保育所の再編・民営化箇所数（直営保育所の箇所数）						
	直営保育所の再編・民営化を実施した箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）再編・民営化箇所数5箇所（直営保育所数18箇所）（平成26年度）	1 箇所 (20)	2 箇所 (18)	1 箇所 (19)	50.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	（最終目標と最終年度）					順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「元気発進！子どもプラン」で予定していた折尾保育所の民営化は、保育所移転先における開発事業の遅れという外的要因により実施できませんでした。一方、修多羅保育所については、プランどおり統合を実施したことから、総合評価を順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の再編・民営化を進めることにより、保育所運営に係る市負担額の軽減と、保育所運営の効率化を図っています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成26年11月に策定した「元気発進！子どもプラン 第2次計画」に基づいて、計画的に直営保育所の再編・民営化を図ります。 具体的には、平成27年度から平成31年度までの5年間で、直営保育所5箇所の民営化と1箇所の統合を図り、13箇所に再編します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	障害児保育の充実						掲載ページ
							45
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		212,642 千円	234,034 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	通常保育での受け入れに加え、延長保育、一時保育を含めて保育所での集団生活が可能な障害のある子どもの受け入れを行います。また障害のある子どもの福祉の向上と、保護者の就労を支援するため、関係機関の協力のもと、保育所での集団生活が可能な重度の障害のある子どもを直営保育所で受け入れます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	保育所での集団生活が可能な障害児を通常保育だけでなく、延長保育、一時保育での受け入れを行います。また、保育所での集団生活が可能な重度の障害児を直営保育所で受け入れます。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	通常保育における障害児の入所状況	160 箇所 (100%)	163 箇所	163 箇所	100.0 %	大変順調
	障害児の受け入れを全保育所で行っていることから通常保育における障害児の入所可能施設数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)					
	特別保育事業における障害児の入所状況	(延長保育) 148 箇所 (一時保育) 67	(延長保育) 149 箇所 (一時保育) 71	(延長保育) 149 箇所 (一時保育) 71	100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ
保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、通常保のみならず特別保育事業においても、一時、延長保育の実施保育所で障害児の受け入れを行っていることから、特別保育事業における障害児の入所可能施設数を指標としました。 (最終目標と最終年度)延長保育153箇所 一時保育64箇所(平成26年度)						

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 平成27年3月1日現在、113施設で349名の障害児を受け入れました。直営保育所では重度障害児23名を受け入れました。 障害の有無にかかわらず、一緒に保育し、ともに育ち生活する中で、相互の健全な育成を図ることができます。保育所での保育が可能な障害のある子どもを積極的に受け入れており、なおかつ就労を希望する保護者も増加すると思われるため、障害児保育のニーズは高まると予想されます。有効性は、高いと思われます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 現在は障害児数に応じた職員配置を、常勤やパートで行っており効率性は高いと考えます。これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>本事業は、児童の福祉向上に資するところも大きく、保護者の就労支援、子育て支援を図る上で施策に対する有効性も高く、今後も関係機関との連携、研修、会議等内容を工夫しながら、保育の質の向上を図り、着実に取り組むことが適当だと考えます。</p> <p>統合保育が可能な障害のある子どもについては、引き続き全保育所で受け入れます。</p> <p>加えて、一時・延長保育を実施している保育所では、在宅障害児の一時保育、在園障害児の延長保育も行います。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	親子通園クラスの設置						掲載ページ		
							46		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,685	千円	3,642	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	直営保育所へ「親子通園クラス」を設け、主に未就園児を対象に発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。					
活動計画	八幡西区黒崎保育所、小倉北区東篠崎保育所において、親子通園クラスを運営し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	親子通園クラスの利用者数（延べ数）	217 組	200 組	300 組	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	計画当初は目標数を実施箇所数（7箇所）としていたが、保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示すには、親子通園クラスの箇所数よりも利用者数が適当と考えられるため、指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）<7箇所、平成26年度>200組（平成26年度）			150.0 %			
					順調	順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小倉北区東篠崎保育所と八幡西区黒崎保育所の親子通園クラスで、遊びの提供や保護者との懇談を行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した支援を行いました。黒崎保育所は延べ180組、東篠崎保育所は延べ120組の親子が利用しました。通園利用世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また、保育所・幼稚園・療育機関等への移行先が決定した世帯も84%を超え、移行支援としての成果も出ていることから順調としました。全国的に先駆けた事業です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の経費資源を活用することでコストを抑えるとともに、利用料として1世帯あたり月に4,000円を徴収しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること	
引き続き、実施している2ヶ所について検証していきながら、関係機関との連携、PRを行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対して、継続した支援を行います。	

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	緊急時対応保育所の整備						掲載ページ
							46
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	新型インフルエンザなどの新型感染症発生時や災害発生時など、保育所を一齐休園する緊急時に、両親とも医療関係者など、特に保育を必要とする保護者へ対応するため、直営保育所を「緊急対応保育所」として開所します。		活動実績	活動結果は以下内容のとおりです。直営保育所については、民間との役割分担を踏まえ、そのあり方自体を検討中です。	
活動計画	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	「緊急対応保育所」運用制度についての検討	—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討します。 (最終目標と最終年度)					
						順調
(最終目標と最終年度)						
					やや遅れ	
					遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討しています。直営保育所については、民間との役割分担を踏まえ、そのあり方自体を検討中です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	既存の施設や人員を活用してサービスを提供することが可能であるため、「経済性」「効率性」の高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き、「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて、検討します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	区役所における保育サービス等の相談・コーディネート機能の向上						掲載ページ
							46
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		13,918 千円	20,200 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	区役所の保育サービスに関する窓口の体制を強化し、保育サービスに関するきめ細かい説明や情報提供を行いながら、児童と保護者の状況を踏まえた保育サービス等のコーディネートに取り組みます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	保育を希望する保護者等の相談に応じ、個別のニーズを把握したうえで、認可保育所のほか、一時保育や幼稚園預かり保育などの多様な保育サービスについての情報を提供する「保育サービスコンシェルジュ」を、平成26年8月から各区に1名ずつ配置します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	保育サービスコンシェルジュの配置数	-	7 人	7 人	100.0 %	大変順調
	保育サービスコンシェルジュの配置が、各区役所の保育サービスに関する窓口の体制を強化につながると考え、指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)					
						やや遅れ
(最終目標と最終年度)					遅れ	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	今年度より各区役所に「保育サービスコンシェルジュ」を1名ずつ配置し、保育を希望される方への相談を受けたり、児童や保護者のニーズにあった情報を提供することなどにより、新規の入所につながったケースもあることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現行の窓口の体制を強化し、多様化する保育ニーズに応えていく必要があり、民間活力導入にはなじまないと考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

平成27年度も「保育サービスコンシェルジュ」を各区に1名ずつ配置し、区役所の保育サービスに関する窓口機能の向上を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	支援の必要な子どもと家庭を支えるネットワークの構築						掲載ページ		
							46		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	発達の気になる子どもや、育児に不安を抱えた保護者など、支援の必要な子どもと家庭への個別の対応と継続した支援を行うため、区役所と直営保育所の連携を深め、保健・医療・福祉・教育の連携によるネットワーク作りを進めます。			活動実績	親子通園担当者連絡会 親子通園担当者見学実習 (児童発達支援センター・子ども総合センター) 保健師との連携(親子通園の情報発信・保健師の親子通園見学) 保育所嘱託医への情報発信 その他、通園開始時、他施設への移行時に区役所、教育、等との連携を行いました。	
活動計画	区役所と直営保育所の連携を深め、保健・医療・福祉・教育の連携によるネットワーク作りを進めます。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	ネットワークの構築		—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	親子通園の利用者の入所調整、入所後の支援体制についてのネットワーク作りを進めます。 (最終目標と最終年度)						
						順調	順調
(最終目標と最終年度)							
					やや遅れ	遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	支援の必要な子どもと家庭を支えるため、小倉北区の東篠崎保育所と八幡西区の黒崎保育所が区役所、医療、教育機関等と連携を進めています。発達の気になる子どもや、育児に不安を抱える保護者が増えており、直営保育所と区役所が連携したネットワークの構築は有効性が高いと思われます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の機能を活かしながら、支援の必要な子どもとその家庭への個別対応と継続した支援を行うので、これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
今後とも直営保育所の役割を明確にし、人材を活かしてネットワーク作りを進め、発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者支援を行います。親子通園を検証し、実施保育所間の連携の強化、また親子通園が実施されている区以外の区役所や関係機関とのネットワークの拡大・充実を図り、発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者支援を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育サービスに関する情報提供の充実						掲載ページ
							46
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	市ホームページ上で各保育所の入所状況を表示し、保育所入所希望者等への情報提供の充実を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	ホームページ等の充実を図ります。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	ホームページの更新回数	12 (100%) 回	12 回	12 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	平成21年度より、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開しており、毎月(年12回)の入所状況の公開を継続することが、入所希望者等への情報提供の充実に寄与するため、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)			100.0 %		
(最終目標と最終年度)						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画通り、毎月(年12回)、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供の充実を図ったことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ホームページを活用した情報提供は、低いコストでより高い効果を期待できるものであり、これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
区役所窓口における保育所入所相談時に、ホームページによる情報提供の内容を周知していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	直営保育所給食調理業務民間委託						掲載ページ		
							46		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		49,455	千円	51,252	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	北九州市経営プラン(平成20年12月)に基づく「公民パートナーシップの推進」の一環として、直営保育所の保育所給食調理業務の民間委託を行います。			活動実績	平成26年4月から、直営保育所1所(徳吉保育所)にて、給食調理業務の民間委託を開始しました。 また、給食調理業務民間委託を実施している6所(新規開始保育所を含む)にて、安全安心な給食が提供されていることを確認するための履行確認を実施しました。		
活動計画	調理員の欠員状況等を考慮し、直営保育所1所にて、保育所給食調理業務の民間委託を行います。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	保育所給食調理業務民間委託実施所数		0 所	1 所	1 所	100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	調理員の欠員状況等を考慮し、直営保育所1所(徳吉保育所)にて、保育所給食調理業務の民間委託を行います。保育所給食調理業務民間委託を実施した保育所箇所数が、適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)							
							順調	順調
(最終目標と最終年度)						やや遅れ		
						遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 保育所給食調理業務民間委託の取り組みについては、これまで直営保育所5所(穴生保育所、堂山保育所、若松コスモス保育所、吉野保育所、白銀保育所)にて実施していましたが、平成26年4月から、さらに直営保育所1所(徳吉保育所)にて民間委託を新規開始し、実施保育所の拡大を図りました。 公民パートナーシップの推進、効率的な行政運営の実現に寄与しており、活動の状況については、順調であると考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 保育所給食調理業務民間委託により、1所あたり7,000千円程度の経費節減を実現しており、「経済性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
北九州市行財政改革大綱(平成26年2月)を踏まえ、「民間にできることは民間に委ねる」という考え方に基づき、直営保育所本体の民営化と調整しながら、順次、直営保育所給食調理業務を民間委託します。